

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(ふじ) 富士森林計画区 (静岡県)	事業実施主体	関東森林管理局 静岡森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、静岡県の東部に位置する沼津市、裾野市、御殿場市、富士市、富士宮市、三島市の6市と、駿東郡小山町、長泉町、清水町の1町を包括しており、富士森林計画区内の森林80千haのうち、国有林野15千haを対象としている。</p> <p>計画区内の国有林野の多くは、相模湾に注ぐ酒匂川、駿河湾に注ぐ狩野川等の源流部に位置し水源地として重要な役割を果たしている。林況は、林地面積の60%がヒノキやウラジロモミ等を主とする人工林、40%がブナやナラ等を主とする天然林である。</p> <p>近年、ニホンジカ等による植栽木の食害、剥皮被害が多く発生しており、森林の有する多面的な機能の維持・向上のため、関係各機関と連携を図りながら獣害防止対策に努める必要がある。</p> <p>また、富士山の大沢崩れや明神峠・大洞山地域の火山噴出物(スコリア)堆積地等の浸食や崩壊地が多い地域であり、山地災害の防止機能の発揮も求められている。</p> <p>本事業においては、木材の安定供給の確保はもとより、良質な水を提供する水源地としての重要な役割を担っていることから、水源涵養機能や山地災害防止及び土壌保全機能の向上を図る。また、森林の重視すべき区分に応じ、伐採跡地における植栽等の更新作業を行うとともに、下刈や間伐等の森林整備を目的とする。併せて森林整備を効率的に行うため、林業専用道の新設や既設路線の改良を実施する。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">164ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,954ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">26.3km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.9km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,047,354千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	164ha			保育面積	1,954ha		路網整備	開設延長	26.3km			改良延長	0.9km	総事業費			1,047,354千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	164ha																				
		保育面積	1,954ha																				
	路網整備	開設延長	26.3km																				
		改良延長	0.9km																				
総事業費			1,047,354千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	2,541,086千円																					
	総費用(C)	1,168,969千円																					
	分析結果(B/C)	2.17																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 林産物の安定供給のほか、獣害対策や山地災害防止、良好な景観の維持が求められる地域であり、本事業の実施により求められる森林の多面的機能の発揮が図られることから事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、路網整備と連携した計画となっている。</li> <li>・ 効率性 伐採計画を踏まえた路網整備や更新計画となっており、間伐も効率的に行われると思料されることから、事業の効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

## 別紙様式 7

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業  
 施行箇所：富士森林計画区

都道府県名：静岡県  
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	424,345	
	流域貯水便益	157,947	
	水質浄化便益	335,091	
山地保全便益	土砂流出防止便益	476,536	
環境保全便益	炭素固定便益	101,356	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	254,673	
	木材生産確保・増進便益	137,280	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	9,317	
	森林整備促進便益	644,541	
総 便 益 (B)		2,541,086	
総 費 用 (C)		1,168,969	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,541,086}{1,168,969} = 2.17$		

# 森林環境保全整備事業 富士森林計画区(静岡県)事業概要図

## 森林整備事業のイメージ



下刈作業



除伐 類



## 路網整備事業のイメージ



林道改良工事

